【授業科目】母性看護学実習　　Maternity Nursing Practicum

担　当　教　員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
野内 香純、日比 千恵 髙塚 麻由、鈴木 茉央	３年次 後　期	必　修	２	９０	実　習	あり	巻末 掲載	否

授業概要 （内容と進め方） 及び 課題に対する ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	授業概要／母性看護学では、周産期における母子とその家族に対し、身体的・心理的・社会的特性を理解し、個別的な看護を実践するための基礎的能力を養う。このことを通して母子保健医療チームの一員である看護者の役割と責任について考える。それを受け、この実習では周産期における母子とその家族を受けもち、対象者にあった個別的な看護を実践する。また、各種保健指導見学、妊婦健康診査見学などを行い周産期の対象に実施される健康教育について学習する。さらに、分娩見学を通して生命の誕生場面に触れるとともに生命の尊厳について学習する。 課題に対するフィードバック方法／実習記録については適宜口頭でコメントする。また、提出された記録にコメントを記載する場合もある。　＊実務経験をもつ教員が授業を進める。
実務経験に関する 授業内容	学生が周産期の女性とその家族についてアセスメントする際、産科領域の実務経験をもつ教員が思考整理のサポートや、看護ケアを行う際の指導を行う。
授業の 位置づけ	本学のディプロマポリシー③「専門的知識・技術に基づき、地域に暮らすあらゆる健康レベルの人々にそれぞれ必要とされる看護を実践することができる」の達成に寄与している。
到達目標 （履修者が到達すべき目標）	１．周産期の母子とその家族の身体的・心理的・社会的特性を理解し、適応の過程を述べることができる。 ２．周産期の母子とその家族に対して必要な看護を実践することができる。 ３．母子保健医療チームの一員として、看護者の役割と責任を自覚した行動がとれる。 ４．自己の学修過程を振り返り、今後の実習課題を述べることができる。
時間外学習に 必要な 内容・時間	※詳細については、実習要項を参照してください。
授業計画	・実習期間は　令和７年９月８日～令和８年２月 27 日のうち 10 日間 ・実習時間は、原則として８：30～16：30 ※詳細については、実習要項および実習オリエンテーション時配布資料を参照してください。 野内 日比 髙塚 鈴木
評価方法 評価基準	※詳細については、実習要項を参照してください。
学生への 助言等	母性看護学実習について自分が学びたいこと、達成したい課題などを明確にして実習に臨むことが大切です。 収集した様々な情報を整理し、関連づけながら対象者の状況を的確に判断し、個別性のあるケアを安全に実践できるよう、既習の関連科目を復習し、母性看護に関する技術について十分に練習してから実習に臨んでください。 また、実習期間中の体調管理にも努めてください。